

2月号

第186号 2015年2月1日  
発行 / 医療生協さいたま

## 生協歯科

〒336-0926 さいたま市緑区東浦和 6-16-1

(外来予約受付) Tel: 048-810-6100

(2階事務室) Tel: 048-810-6101 Fax: 048-810-6103

Eメール [sika-j@mcp-saitama.or.jp](mailto:sika-j@mcp-saitama.or.jp)

ホームページ <http://seikyo-shika.com/>



# 医療懇談会 開催決定!!

まだまだ寒い日が続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今年も下記の日程で**医療懇談会**を開催することになりました!!

生協歯科の活動報告や、昨年末に実施した外来アンケートの結果報告の他、学習講演も企画しております。

参加費無料ですので、たくさんのかたのご参加をお待ちしています。



日時: **3月16日(月) 午後1時半~3時半**

場所: **生協歯科 1階会議室**

内容: **アンケート結果報告・講演**

講演…健康づくりと医療生協—その鍵を握るのは「科学」

講師: **地域社会と健康研究所所長 高石 光雄**

参加費: **無料** 定員: **40名**



## 診療時間

- 矯正診療日・・・毎週木曜日の夜間、第2・第4土曜日
- 歯科往診もおこなっております

曜日	午前	午後	夜間
月・火・木・金	8:30~11:30	13:00~16:30	17:30~20:30
水曜日	8:30~11:30	第5のみ午後も診療 (13:00~16:30)	
土曜日	8:30~11:30	13:00~16:30 (第5は午前の診療のみ)	

**急患の方へ** \*電話をまずお願いします。

空いている時間帯と患者さんのご都合で時間のご案内をさせていただきます。

# 重監房資料館

歯科技工士 森谷 聡



みなさんは『特別病室』と聞いて何を想像しますか?

数年前ですが草津温泉に行った時に、知人の写真家の方が撮っていた国立療養所栗生楽泉園(くりうらくせんえん)が近くにあるのを思い出し、行ってみました。

突然の飛び込み見学にも関わらず、施設の職員が丁寧に案内してくれました。

栗生楽泉園は、ハンセン病にかかった人たちが家族や社会から切り離され、療養所という名の収容所に国によって強制隔離された場所です。環境はとても静かなところで、目の不自由な人もいたので場所を知らせる音がスピーカーから穏やかに流れているのが印象的でした。

職員から「来年に**重監房資料館**が出来るのでまた是非来てください」と言われ、次の年も栗生楽泉園を訪ねてみました。

冒頭で書いた『特別病室』は栗生楽泉園の敷地内にかつてあったハンセン病患者を対象とした懲罰用の建物『**重監房**』の正式名称なのです。しかし病室とは名ばかりで実際には患者の治療は行われず、『患者を重罰に処するための監房』として使用されていました。

資料館に入ってすぐハンセン病についての映像を見ました。らい菌に感染・発病することで起こるハンセン病は、手足などの末梢神経に障害が起き、汗が出なくなったり、痛い・熱い・冷たいといった感覚が失われ、なかには目が見えなくなったり、体の一部が変形するといった後遺症が残ることもありました。

1943年に治療薬が開発され、現在ではハンセン病は早期発見と適切な治療で後遺症を残さず治すことができますが、1900年初めの頃から1931年(平成6年)に**らい予防法**(患者の強制隔離や外出禁止など)改正後、1996年(平成8年)に廃止されるまでの約1世紀、ハンセン病患者の人権が永きに渡り侵害されてきたことを学びました。



資料館の中を進んでいくと、とてつもなく高いグレーの塀が目飛び込んできます。これは重監房を実寸で再現した展示で圧倒的な威圧感で迫ってきます。この重監房は1938年(昭和13年)に全国で13ある国立療養所の不良患者を収容する目的で栗生楽泉園の中に造られました。不良患者と言っても、施設規則に少しでも反抗したり、待遇改善の要求をただけで処罰された患者で、1947年(昭和22年)までの9年間で延93名のハンセン病患者が重監房に収監され、そのうち23名が獄死しました。

零下20℃にもなる草津の冬に、暖房も全くない監舎で上下1枚ずつの薄い布団と1日2回の粗末な食事しか与えられなかったのです。「死者は布団ごと凍って剥がすのが大変だった」と、当時死体搬出をさせられた在園者が語っています。

さらに驚くべきことに、収監は懲戒検来権という権限を持った所長である医師の判断で行われていたというのです。

私たちは、このような差別や偏見があった事実を学び、人権が尊重される社会にしていくために何が出来るのか考えていかなければならないと強く感じました。機会があったら、**重監房資料館**を訪れて重監房の塀の高さを体感してみてください。

参考文献:「病癒えても」寺島萬里子写真集

「キミは知っているかい?ハンセン病のこと」日本科学技術振興財団

「ハンセン病の向こう側」厚生労働省

「重監房資料館パンフレット」厚生労働省



重監房資料館



はちまる にいまる  
**8020運動**

歯科衛生士 平野 由紀子

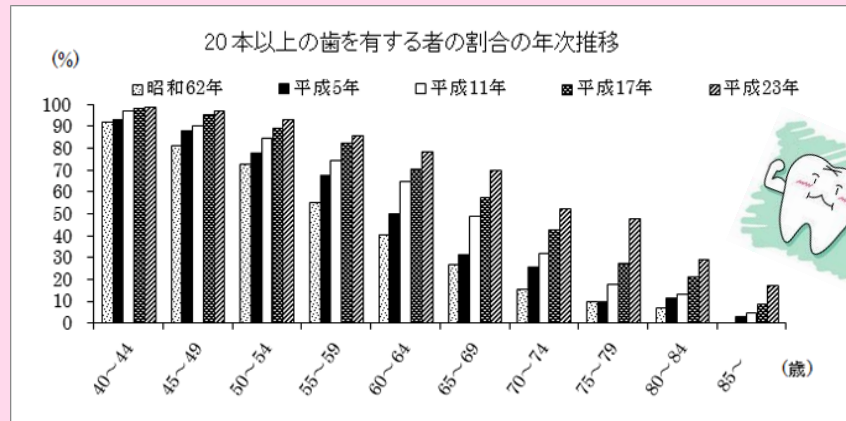
このところよく耳にする**8020運動**（厚生労働省と日本歯科医師会が推進している、『80歳になっても20本以上自分の歯を保とう』運動）について、8020達成者はどのくらいいるのかを見てみたいと思います。

厚生労働省が6年ごとに虫歯や歯ぐきの状況・歯ブラシの使用状況について調べている**歯科疾患実態調査**というのがあります。一番最近おこなった調査は平成23年11月で、無作為に抽出された4253人に調査がおこなわれています。

それによりますと、8020達成者は38.3%で、平成17年調査の達成者24.1%より増加しています。大人の歯の数は親知らずを除いて28本ですが、失った歯の数は平均すると、40歳代後半で1.5本（平成17年は2.3本）、50歳代後半で4.1本（平成17年は5.0本）、60歳後半で7.2本（平成17年は10.1本）と、どの年代も平成17年の調査結果より少なくなっています。



グラフ：厚生労働省のHP



生協歯科でも昨年6月から『口からの健康づくり』活動として、8020運動に取り組んでいます。達成された外来患者さんに表彰状とアンケートをお渡しし、可能な方のみですがこの『**こんにちは歯科です**』紙上で毎月発表しています。

80歳で20本の歯を保ち、生涯おいしく食べられる生活を目指しましょう♪

『虹の箱』から

= 生協歯科 事業所利用委員会 =



みなさまからのご意見・ご感想お待ちしております。

『8020さん』達成おめでとうございます!!

生井 喜八郎さん (85歳)	匿名希望 さん (82歳)	荒川 常男さん (81歳)	黒沢 和代 さん (81歳)	泉山 松男 さん (83歳)
★定期的に歯科受診 ★歯磨きは1日3回 ★趣味は、書道・絵旅行	★歯磨きは、朝食前後と夕食後 ★歯ブラシと歯間ブラシを併用 ★好きな食べ物は、野菜・果物・肉	★定期的に歯科受診 ★歯ブラシは、普通の歯ブラシと歯間ブラシと舌ブラシ ★食べ物は好き嫌いなし	★定期的に歯科受診 ★歯磨きは1日2回、朝食後・就寝前 ★趣味は、ピアノ	★定期的に歯科受診 ★歯磨きは1日3回 朝・昼・夜の食後 ★好きな食べ物は、魚介類



ボランティア(真珠の会)活動日2月13日(金)9時30分~

集合：生協歯科1階会議室 内容：草取り・本棚整理 など  
初めてのかた大歓迎です♪♪ ぜひご協力をお願いします!!

組合員活動だより

協力・協同してとりくむ医療生協運動



さいたまBブロック理事：堀口 敏道

ヨガや書道などのサークル活動や、健康まつりやバスハイクなどの行事の際に、『増資（出資金を増やすこと）』のお願いをすることがよくあります。

みなさんから預かりした出資金は、主に医療機器を購入したり事業所を建設・増築をしたりするために使われています。また、組合員に支えられて、医療生協さいたまの病院では差額ベッド代が無料ですし、『**無料低額診療（※）**』などの事業を行うこともできています。

生協歯科では、今年度は歯科治療用診療台（高いものだと1台400~500万円!）を3台買い換える予定です。また治療器具を滅菌するオートクレーブという機械も更新しました。

実は、出資金については、毎年、かなりの数の減資（出資金を減らすこと）や脱退があり、総額を維持していくためには、本当に幅広い層の方に呼びかけるとりくみが必要です。

増資は現金での取り扱い以外に、口座からの自動引き落としも出来ます。

是非、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

※無料低額診療事業…生計の困難な方に対して医療機関が無料または低額な料金によって診療を行う事業。



お茶しましょ♪

SHIKAKOーしかこー

ご近所のみなさん、治療に来院された患者さん、組合員さん...  
どなたでもご参加できます。

生協歯科で『ホッとひと息♪』してみませんか?

毎月第4金曜日の  
午前中開催♪

2月27日(金)10時~12時

場所：生協歯科1階会議室 参加費：200円

